

## 1. 看護学科の教育理念

看護学科の教育理念は、本学の基本理念でもある「平和・自由・進歩」を踏まえ、生命の尊厳と人権を尊重し、擁護する倫理観と豊かな幅広い人間性を培うとともに、その人がその人らしく生きられるように、ヒューマンケアを提供できる高度医療を担う質の高い看護専門職者を育成することです。また、保健・医療・福祉を統合的に捉え、社会のニーズに対応し、地域社会及び国際社会に貢献しうる実践能力のある健康支援人材を育成します。そのために、看護学科では人間をホリスティックに理解することを最大の特徴とし、人間が生きることの意味や人間のこころとからだの理解を基盤として、健康に関わる専門知識を統合的に習得します。また、健康の保持、増進の方策を科学的、総合的に明らかにし、『市民参画型の健康づくりを支援する専門職（看護の対象となる人、1人ひとりが健康づくりに参画することを支援する専門職）』の育成を目指します。

## 2. 参画型看護教育の実践に向けて

### 【市民が主人公となる医療の場を創出する教育】

21世紀は患者がPatient(我慢する人)ではなく、Person(健康に生きる人)でなければならないと考えています。このような患者中心の看護を真に実現するのが参画型看護教育です。

これからの時代、看護職は市民と協働して健康を回復し、平和と希望の中で生きることができるよう保健・医療・福祉の場において市民の健康に生きる権利の擁護者として活躍することが期待されています。このような時代において、創造的に活躍できる自己教育力の高い看護専門職者を育成するのが参画型看護教育です。

### 【学生が主人公として成長する参画型看護教育】

学生は学ぶ主体（主人公）としてコミットメント能力（参画力）を育てています。コミットメント能力とはその場や状況の只中に自己を投げ入れ(プロジェクト)、自己を成長(超我)へと向かわせる力です。学生は教師や仲間との対話を通して授業へ参画し、自らが授業を創りだしています。少人数教育やゼミ学習を通して大きく成長します。

看護学科では、参画型看護教育を実践し、教育目標を達成し、さらに看護師・保健師国家試験受験資格を取得するための教育課程を用意しています。

## 教育課程の特徴

### 1. 看護学科の教育

看護学科は学生が主体（主人公）となる教育実践を目指し、学生自らが授業作りに参画する協働探求を中心とした学習、双方向型の教育、少人数教育を実践するためにゼミ、クラスワークを主体とした『教授－学習課程』を取り入れています。教育課程の編成の基本的な考え方は、**学生自らが学ぶ主体として成長していくための参画力を身につける『学生参画型看護教育』**です。具体的には、コーチング理論や協働学習理論をもとに、学生一人ひとりの個性を大事にするカードメソッドを教授法に応用しています。

このような協働的探求をとおしてダイナミックに知識創造の「場」作りが学生の手によって営まれます。受身的な学習態度や一方向的な形式の授業ではなく、学生と教員が協働して授業を進めていきます。学生の**協働探求力、自己教育力、自己評価力**の育成を教育目標に位置づけて、教養教育科目の『教養演習』をコアカリキュラムとして教養教育を編成します。

### 2. 教育課程のすすめ方

『学生参画型看護教育』は、学生が自ら学ぶ主体として成長していくために、参画力を身につける体系化された教授法です『学生参画型看護教育』では、「**自己との対話**」「**他者との対話（仲間、教員、職員との）**」「**地域社会との対話**」をとおして「**個の自立と成長**」、「**個の学習目標の達成**」、「**自己教育力の育成**」を目指しています。そのため、ゼミ単位、クラス単位、また学年全体での授業とさまざまな授業スタイルを取り入れ、特にゼミ活動を中心とした教養演習やケアリング文化実習で

## 学生参画型看護教育の特徴

		一年次	二年次	三年次	四年次
<b>目標</b>		参画型看護教育の基本理念、及び学習方法の取得と評価	参画型看護教育の学習方法の活用と評価	参画型看護教育の学習方法の発展と評価	参画型看護教育を活用したキャリア開発と評価
<b>自己教育力を育む3つの対話</b>	<b>①自己との対話</b> 看護キャリア開発	教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ		看護研究方法 看護実践研究の自主企画	卒業研究 看護実践研究の自主企画
		自分自身との対話を通して自己理解を深め、看護職としてのキャリア開発を行う。			
	<b>②他者との対話</b> 参画型授業開発				
	授業・学内行事などを通じて仲間・教員・職員と対話し、自らがカリキュラム開発を行う。				
<b>③地域との対話</b> 参画型看護実践	ケアリング文化実習 基礎看護実習Ⅰ	基礎看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅰ	小児看護実習 母性看護実習 成人看護実習Ⅱ 高齢者看護実習 精神看護実習 在宅ケア実習	成人看護実習Ⅰ 総合実習	公衆衛生看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅲ
	フィールド活動、看護実習を通して地域への関心を深めケア文化の開発を行う。				

は、学生が教員とともに授業を作り運営する形式をとっています。ゼミは6~7人、クラスは20人程で編成とし、授業内容に合わせて柔軟に運用しています。そのことにより、学生個々の学習支援や生活支援がスムーズになり、学習時間の確保や試験前の学習に取り組む姿勢など、学習意欲の向上、学習継続への意欲などの効果が得られています。

### 3. 教育課程の展開

『学生参画型看護教育』の実践の特徴は以下の通りです。各年次の最後には、1年間の学びの評価を行い、課題についてはグループで話し合い、問題解決に向けた方法を協働探究します。また、各学年の前後期にクラス担当教員と個人面談を行います。

- 1年次では、本学における学習者としての基本的な心がまえや学習方法として、**自己の学習目標を明確にし**、クラス（ゼミ）活動の進め方についても話し合い、学生自らクラス活動を企画、運営します。
- 2年次では、自分自身のアイデンティティーの確立をめざして、将来のキャリアデザインを描きます。クラスワークでは、クラス活動の進め方に関するアクションプランを立てて実践します。
- 3年次では、自分らしい専門性の獲得をめざして学習ガイダンスを学生自らが企画、運営し、3年次の学習目標を作成します。
- 4年次では、卒業後の進路の開拓をめざして学習ガイダンスを学生自らが企画、運営し、4年次の学習目標を作成するとともに、4年間の学びを評価し後輩へ伝承していくことを目標とします。

## 4年間のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間予定	入学式 履修ガイダンス 前期授業開始	新入生歓迎 スポーツ大会			期末試験	夏季休業 (約一ヶ月)	後期授業開始	名桜祭		冬期休業 (約一週間)	期末試験	卒業式 (約一ヶ月) 春季休業
1年次	オリエンテーション 入学前	教育研修			基礎看護 実習Ⅰ		ケアリング文化実習					
		教養演習Ⅰ						教養演習Ⅱ				
2年次											公衆衛生看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ	
3年次								臨地実習 (成人看護実習Ⅱ、高齢者看護実習、在宅ケア実習、 小児看護実習、精神看護実習、母性看護実習)				キャリアアップ セミナー 就職説明会 卒業研究
4年次			臨地実習 (成人看護実習Ⅰ・*公衆衛生看護実習Ⅱ *公衆衛生看護実習Ⅲ)			総合実習 (2週間)		卒業研究発表会			後期・大学生生活 目標の総合評価 個人面談	卒業式 国家試験受験 保健師・看護師
共通課題	前期の目標設定 一年間の目標設定 目標設定・確認 大学生活における				個人面談 クラスワーク	前期目標の評価 後期目標の設定				個人面談 クラスワーク	次年度の目標設定 後期目標の評価	

\*保健師課程選択コースのみ

## 授業科目の区分と卒業に必要な単位数

### 1. 卒業に必要な単位数

卒業の判定に当たっては、学則で定めた基準による所定の単位を修得する必要があります。人間健康学部看護学科の卒業に必要な単位数（看護師国家試験受験資格取得に必要な単位数）は次のとおりです。科目区分の詳細は、P132～136の別表3及び4を参照すること

表1. 卒業要件

区 分		科目区分	必修	選択	卒業に必要な単位	小計
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8	0	8単位以上	28単位以上
		ライフデザイン科目	2	0	2単位以上	
		思想と論理科目	0	2	2単位以上	
		沖縄理解科目	0	2	2単位以上	
		健康・スポーツ科目	0	2	2単位以上	
	共通選択	外国語科目	2	2	4単位以上	
		国際理解	0	2	8(統計学のみ必修)	
		人文科学	0	2		
		社会科学	0	2		
		自然科学	2	0		
専門基礎教育科目	人間の理解	10	0	10単位以上		33単位以上
健康の理解	14	0	14単位以上			
環境の理解	9	0	9単位以上			
専門教育科目	専門分野Ⅰ	基礎看護	13	0	13単位以上	68単位以上
	専門分野Ⅱ	成人看護	13	0	13単位以上	
		母性看護	6	0	6単位以上	
		小児看護	6	0	6単位以上	
		高齢者看護	6	0	6単位以上	
		精神看護	6	0	6単位以上	
	統合分野	在宅看護	3	0	3単位以上	
		総合看護	12	0	12単位以上	
保健師教育分野	公衆衛生看護	3	0	3単位以上		
卒業に必要な単位			115	14	129単位以上	129単位以上

## 取得できる免許・資格について

### 1. 看護師国家試験受験資格

卒業要件である4年間の指定されたカリキュラムを履修し、単位を修得することにより、**看護師国家試験受験資格**が得られます。国家試験は毎年2月中旬に行われ、3月下旬に合否が発表されます。

### 2. 保健師国家試験受験資格

卒業要件である4年間の指定されたカリキュラムおよび保健師課程選択コースのカリキュラムを履修し、単位を修得することにより、**保健師国家試験受験資格**が得られます。国家試験は毎年2月中旬に行われ、3月下旬に合否が発表されます。

※ 保健師助産師看護師法の改正により、保健師の免許取得にあたり看護師の資格を有することとされました（保健師免許は、保健師国家試験及び看護師国家試験に合格した者の申請により保健師籍に登録することによって行います/保健師助産師看護師法第12条）。

### 3. 養護教諭免許

養護教諭は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において、児童・生徒の養護をつかさどる専任の教員であり、取得できる養護教諭免許は、養護教諭二種免許状です。二種免許状は保健師免許を取得した後に、申請により取得できます。ただし、在学中に指定された教職科目（P79）を履修し、単位を修得することが必要になります。

### 4. 第一種衛生管理者申請資格

労働安全衛生法により、常時50人以上の労働者を雇用する事業所等に配置される保健師免許取得後に労働基準局への申請により取得できます。

## 大学間連携共同教育推進事業における単位互換・相互受講について

“文部科学省大学間連携共同教育推進事業で選定された「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」”は、福岡・沖縄の8つの看護系大学と5つのステークホルダーが連携して行っている事業です。

単位互換協定を締結しているのは、琉球大学、福岡県立大学、沖縄県立看護大学、名城大学、国際医療福祉大学、産業医科大学、聖マリア学院大学、日本赤十字九州国際看護大学の8大学です。

特別聴講学生は単位互換と相互受講の2種類の受講体制が取られ、他大学の特徴科目（その大学だけが開講している特徴的な科目）を受講することができます。そこで修得した単位を本学の単位として認定します。単位修得を目的としない相互受講としての提供科目もあります。

詳細は、「特別聴講学生募集要項」をご覧ください。



Inter-University Collaborative Education

琉球大学 福岡県立大学 沖縄県立看護大学 名城大学 国際医療福祉大学  
産業医科大学 聖マリア学院大学 日本赤十字九州国際看護大学  
国立国際医療研究センター 産業医科大学センター 福岡県看護協会 沖縄県看護協会 福岡県看護協会

## 看護学科に特化した履修登録～単位修得までの注意点

### 単位の算定方法

授業形態	単位数	授業時間	1 セメスターあたりのコマ数
講義	1 単位	15 時間	7 コマ+期末試験
	2 単位	30 時間	15 コマ+期末試験
演習	1 単位	30 時間	15 コマ+期末試験
	2 単位	45 時間	22 コマ+期末試験
臨地実習	1 単位	45 時間	1 週間

### 既修得単位の認定

名桜大学人間健康学部看護学科では、他大学等（短期大学、高等専門学校、高等専門学校専攻科を含む）において履修した授業科目（大学設置基準第31条に定める科目等履修生として修得した科目を含む）について、本学（本学科）における授業科目の履修により修得したものとみなし単位認定をする制度があります。既修得単位として認定するためには、以下の書類が必要となります。

- ① 履修単位数、成績を記した成績証明書
- ② 相当する科目の履修内容を記した講義概要（シラバスの写しでも良い）、または受講ノートなどの講義内容のわかる資料（コピーでも可）

看護学科において既修得単位の認定対象となる科目は「教養教育科目」とします。申請にあたっては合計20単位を上限とします。看護学科の特徴から、「専門基礎教育科目」「専門教育科目」は認定しません。単位認定は、提出された書類をもとに審査し、教授会の議を経て決定されます。単位認定を希望する場合は、履修登録期間内に手続きをする必要があるため、入学後早期に書類の準備、申請手続きを教務課で行います。

### 臨地実習について

#### 4年間の実習計画

- 1) 臨地実習は、看護師課程で23単位、保健師課程で4単位が計画されています。1年次から臨地実習が実施され、4年次まで段階的な学習が計画されています（P65履修スケジュール参照）。それぞれの実習には、各概論や方法論等の所定の科目の単位を修得した学生のみ実習を履修することが出来るなどの前提条件があるため、必ず各科目のシラバスを確認して下さい。
- 2) 単位認定に関する実習評価  
実習評価は、実習目標到達度・記録物・レポート・実習態度等により科目責任者が行う。原則として、4/5以上の出席がない場合は、実習評価を受けることができません。また、原則として補充実習は行いませんが、公欠席（忌引き、感染症等の登校禁止の診断書がある時）等で、必要と判断された場合のみ、所定の手続きを経て補充実習を行うことがあります。

表5. 看護師 履修モデル

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ コンピュータ・リテラシー アカデミックライティングⅠ 大学と人生 統計学 ベーシック・イングリッシュ (科目区分：必修選択) ライフデザイン 思想と論理 国際理解 沖縄理解 人文科学 健康スポーツ 社会科学 外国語 自然科学			
専門基礎教育科目	解剖生理学 病態生理学(含：病理学) 生化学 人間関係論 生涯発達論 看護と福祉 医療英語 家族社会学(含：ジェンダー論)	病態治療学Ⅰ(内科系疾患) 病態治療学Ⅱ(外科系疾患) 病態治療学Ⅲ(小児疾患) 病態治療学Ⅳ(母性疾患) 病態治療学Ⅴ(精神疾患) 老年学 薬理学 微生物学 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 公衆衛生学 保健福祉行政論 産業看護学 保健医療と法 精神保健 免疫学 疫学 学校保健 保健行動論	健康相談活動の理論と方法 看護概説	保健統計学
専門教育科目	看護学概論 看護援助論 基礎看護技術Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ 看護実践方法論 フィジカルアセスメント 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 母性看護学概論 小児看護学概論 高齢者看護学概論 精神看護学概論 公衆衛生看護学概論 家族看護学 感染看護 国際看護学Ⅰ 沖縄の文化と看護 島嶼過疎地看護論	成人看護学方法論Ⅱ リハビリテーション看護論 小児看護学方法論 精神看護学方法論 高齢者看護学方法論 在宅ケア論 母性看護学方法論 看護研究方法 ターミナルケア論 国際看護学Ⅱ	卒業研究 看護実践と理論 看護政策論 看護管理 看護教育論 災害看護論
臨地実習	ケアリング文化実習 基礎看護実習Ⅰ	基礎看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅰ	在宅ケア実習 成人看護実習Ⅱ 母性看護実習 小児看護実習 高齢者看護実習 精神看護実習	成人看護実習Ⅰ 総合実習

※下線の科目は選択科目です。

※国際看護学Ⅱ(選択科目)は2年次～4年次の間で履修できる。

# 保健師課程選択コースについて

## 1. 保健師国家試験受験資格要件の科目の選択制について

平成24年度入学生から保健師国家試験受験要件の科目は選択制となり、2年次後期のGPAや面接等を参考にして、30名（編入学生含む）の保健師国家試験受験要件科目（以下、保健師課程選択コース）の選択者が決定されます。保健師課程選択コースは、必修科目数および授業時間数が多いため、看護師国家試験受験資格のみ取得するカリキュラムと比較すると、過密なスケジュールが予想されます。どのような大学生活を送りたいのか、将来、どのような看護専門職になりたいのか等をよく考えて履修計画を立てることが大切です。

表6. 保健師国家試験受験資格要件の選択科目

受講年次		授業科目名	単位数	科目区分	区 分
2年次	後	学校保健	2	環境の理解	専門基礎教育科目
	後	疫学	2	環境の理解	
	後	保健行動論	1	環境の理解	
	後	島嶼・過疎地看護論	1	総合看護	
3年次	前	公衆衛生看護活動論	2	公衆衛生看護	専門教育科目
	前	公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	公衆衛生看護	
	前	公衆衛生看護方法論Ⅱ	2	公衆衛生看護	
4年次	前	保健統計学	2	環境の理解	専門基礎教育科目
	後	公衆衛生看護管理論	2	公衆衛生看護	専門教育科目
	前	公衆衛生看護実習Ⅱ	1	公衆衛生看護	
	前	公衆衛生看護実習Ⅲ	3	公衆衛生看護	
	後	看護政策論	1	総合看護	
	後	看護実践と理論	1	総合看護	
計			22		

※ 2年次の開講科目は、保健師課程選択コース希望者以外でも履修できます。

※ 3年次と4年次の科目は保健師課程選択コース学生のみ履修します。但し、「看護政策論」「看護実践と理論」「保健統計学」は、選択コース学生以外でも履修できる。

## 2. 保健師国家試験受験資格要件の科目履修計画について

保健師国家試験受験資格要件となる単位数は、卒業要件である129単位に加えて、22単位を追加し、合計151単位の修得が必要です。保健師課程選択コースは、2年次前学期から履修を開始し、4年間で表6に示した選択科目（保健師課程選択コース必修科目）の履修が必要です。また、2年次後学期までのGPAや面接等を総合的に評価して、30人（編入生含む）の保健師課程選択コース選択者を決定します。2年次後学期に保健師課程選択コースの選択学生が決定され、3年次からは看護師国家試験受験要件（卒業要件）に必要な科目の履修と保健師課程選択コースの必修科目が開始されます。

3年次前学期は「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護方法論Ⅰ」「公衆衛生看護方法論Ⅱ」を履修しなければなりません。4年次前学期は、「保健統計学」「公衆衛生看護実習Ⅱ」「公衆衛生看護実習Ⅲ」を履修します。「公衆衛生看護実習Ⅱ」「公衆衛生看護実習Ⅲ」の前提条件は、3年次後学期までに履修した全ての科目および実習の単位を修得することが条件となります。4年次後学期は、卒業に必要な看護の科目に加えて「公衆衛生看護管理論」「看護実践と理論」「看護政策論」などの総合看護の科目を履修します。看護の卒業要件科目の129単位に追加して22単位を修得することで、保健師国家試験受験資格が得られます。

なお、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種の免許状が取得できますが、憲法と体育実技Ⅰ、体育実技Ⅱ、**ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュコミュニケーション**が履修条件となっています。

表7. 保健師課程選択コース 履修モデル

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ コンピュータ・リテラシー アカデミックライティングⅠ 大学と人生 統計学 ベーシック・イングリッシュ 思想と論理 国際理解 沖縄理解 人文科学 健康スポーツ 社会科学 外国語 自然科学			
専門基礎教育科目	解剖生理学 病態生理学(含:病理学) 生化学 人間関係論 生涯発達論 看護と福祉 医療英語 家族社会学(含:ジェンダー論)	病態治療学Ⅰ(内科系疾患) 病態治療学Ⅱ(外科系疾患) 病態治療学Ⅲ(小児疾患) 病態治療学Ⅳ(母性疾患) 病態治療学Ⅴ(精神疾患) 老年学 薬理学 微生物学 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 公衆衛生学 疫学 保健福祉行政論 産業看護学 保健医療と法 精神保健 学校保健 保健行動論		保健統計学
専門教育科目	看護学概論 看護援助論 基礎看護技術Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ 看護実践方法論 フィジカルアセスメント 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 母性看護学概論 小児看護学概論 高齢者看護学概論 精神看護学概論 公衆衛生看護学概論 家族看護学 感染看護 国際看護学Ⅰ 島嶼過疎地看護論 沖縄の文化と看護	成人看護学方法論Ⅱ リハビリテーション看護論 小児看護学方法論 精神看護学方法論 高齢者看護学方法論 在宅ケア論 母性看護学方法論 看護研究方法 公衆衛生看護学活動論 公衆衛生看護学方法論Ⅰ 公衆衛生看護学方法論Ⅱ ターミナルケア論	卒業研究 看護実践と理論 看護政策論 公衆衛生看護管理論 看護管理 看護教育論 災害看護論
臨地実習	ケアリング文化実習 基礎看護実習Ⅰ	基礎看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅰ	在宅ケア実習 成人看護実習Ⅱ 母性看護実習 小児看護実習 高齢者看護実習 精神看護実習	成人看護実習Ⅰ 総合実習 公衆衛生看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅲ

※下線の科目は選択科目です。

※国際看護学Ⅱ(選択科目)は2年次~4年次の間で履修できる。



( ) 内は単位数

学生番号

氏名

専門教育科目 (講義・演習)	1年次	<input type="checkbox"/> 看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 基礎看護技術 I (2)	<input type="checkbox"/> 看護援助論(1)
	2年次	<input type="checkbox"/> 基礎看護技術 II (2) <input type="checkbox"/> フィジカルアセスメント(2) <input type="checkbox"/> 成人看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 母性看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 高齢者看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 公衆衛生看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 感染看護(2)	<input type="checkbox"/> 看護実践方法論(1) <input type="checkbox"/> 成人看護学方法論 I (2) <input type="checkbox"/> 小児看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 精神看護学概論(2) <input type="checkbox"/> 国際看護学 I (1) <input type="checkbox"/> 家族看護学(1)
	3年次	<input type="checkbox"/> 成人看護学方法論 II (2) <input type="checkbox"/> リハビリテーション看護論(1) <input type="checkbox"/> 母性看護方法論(2) <input type="checkbox"/> 高齢者看護方法論(2) <input type="checkbox"/> 在宅ケア論(2)	<input type="checkbox"/> 小児看護方法論(2) <input type="checkbox"/> 精神看護方法論(2) <input type="checkbox"/> 看護研究方法(2)
	4年次	<input type="checkbox"/> 卒業研究(2)	
臨地実習	1年次	<input type="checkbox"/> ケアリング文化実習(2)	<input type="checkbox"/> 基礎看護実習 I (1)
	2年次	<input type="checkbox"/> 基礎看護実習 II (2)	<input type="checkbox"/> 公衆衛生看護実習 I (1)
	3年次	<input type="checkbox"/> 成人看護実習 II (3) <input type="checkbox"/> 小児看護実習(2) <input type="checkbox"/> 精神看護実習(2)	<input type="checkbox"/> 母性看護実習(2) <input type="checkbox"/> 高齢者看護実習(2) <input type="checkbox"/> 在宅ケア実習(1)
	4年次	<input type="checkbox"/> 成人看護実習 I (3)	<input type="checkbox"/> 総合実習(2)
保健師課程コース (必修科目)		<input type="checkbox"/> 学校保健(2) <input type="checkbox"/> 保健行動論(1) <input type="checkbox"/> 公衆衛生看護活動論(2) <input type="checkbox"/> 公衆衛生看護方法論 II (2) <input type="checkbox"/> 公衆衛生看護管理論(2) <input type="checkbox"/> 看護実践と理論(1)	<input type="checkbox"/> 疫学(2) <input type="checkbox"/> 島嶼・過疎地看護論(1) <input type="checkbox"/> 公衆衛生看護方法論 I (2) <input type="checkbox"/> 保健統計学(2) <input type="checkbox"/> 看護政策論(1)
		<input type="checkbox"/> 公衆衛生看護実習 II (1)	<input type="checkbox"/> 公衆衛生看護実習 III (2)

※履修中の科目は☑、修得済みの科目は■